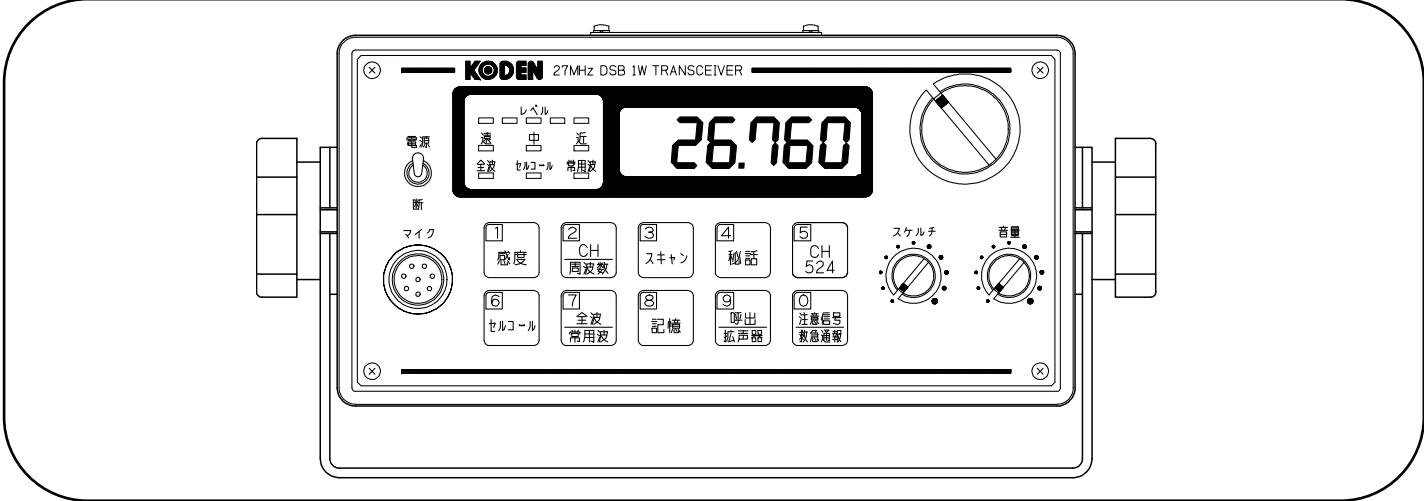


KODEN

DS-33 簡易取扱説明書



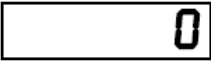
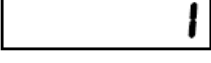
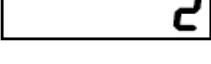
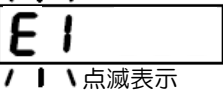
操作 スイッチ	1 感度 受信感度の切替「遠」「中」「近」の3つから選びます。近距離通信のとき「中」「近」を選びます。	2 CH 周波数 周波数チャネル表示 周波数表示を切替えます。	3 スキャン スキャン受信を開始します。	4 秘話 秘話通話を開始します。 (オプション)	5 CH 524 遭難・緊急・安全通信周波数の524チャンネルに設定されます。再度押すまで周波数の変更はできません。
	6 セルコール セルコール呼出しモードになります。	7 全波 常用波 全波と常用波を選択します。	8 記憶 常用波・セルコール呼出番号の記憶に使用します。	9 呼出 拡声器 セルコール呼出送信・拡声器機能を切替ます。	10 注意信号 救急通報 緊急時に“CH524”を押した後、5秒以上押し続けて下さい。海岸局へ注意信号及び、救急データを送信します。 “CH524”以外で5秒以上押し続けると救急データのみを送信します。
	選局ツマミ 本体右上にある大きめのツマミです。周波数の選択や各種設定に使用します。	スケルチ 右に廻すと雑音は減りますが廻し過ぎると通常の受信音も聞こえなくなります。	音量 スピーカの音量を調節します。	送信解除は、スイッチ「1」～「0」又は、プレストークスイッチを押すことにより解除されます。	

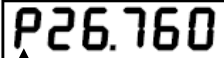
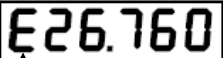
基本 操作	受信 電源断 7 全波 常用波 2 CH 周波数 スケルチ 音量 スケルチ 電源スイッチを入れます。 全波と常用波を選択します。 ※注1、注2 周波数チャネル表示か周波数表示かを選択します。選局ツマミでチャンネルを選びます。 左一杯にしておきます。 適当な音量になるように位置を調整しておきます。 右にまわして雑音が消える位置より少し右で止めます。	送信 ※注1 “全波”にすると、本機に登録されている全55波の周波数が選択可能になります。 “常用波”にすると、任意で記憶させた最大20波の周波数のみ選択可能になります。 ※注2 常用波を記憶していないと、この操作は無効となりスピーカから“ブツ”という音がでます。 マイクのプレストークスイッチを押すと送信状態になります。
----------	---	---

表示部	液晶画面の表示 (常用波/周波数チャンネル表示) 00 333 常用波のメモリ番号("00"~"19") 周波数チャンネル番号("333"~"640") 常用波選択時に選局ツマミを回すと常用波のメモリ番号順に表示されます。常用波選択中は左側の常用波LEDが点灯します。 液晶画面の表示 (常用波/周波数表示) 2 CH 周波数 周波数表示と周波数チャンネル表示を切替えます。 液晶画面の表示 (全波/周波数チャンネル表示) 7 全波 常用波 全波と常用波を切替えます。 液晶画面の表示 (常用波/周波数表示) 26.760 周波数チャンネル番号"333"に相当する周波数(MHz)が表示されます。周波数表示時に常用波のメモリ番号は表示されません。 液晶画面の表示 (全波/周波数表示) 333 26.760 選局ツマミを操作すると全波(55波)が周波数順に表示されます。	常用波の操作	(例) 常用波のメモリ番号"00"にチャンネル"333"(26.760MHz)を記憶させます。 液晶画面の表示 333 選局ツマミでチャンネル"333"を選びます。 記憶 液晶画面の表示 00: 333 メモリ番号が点滅します。 選局ツマミで"00"を選びます。 書き込み 記憶 メモリ番号"00"にチャンネル"333"が記憶されます。 (約3秒間押し続けます) 消去 呼出 拡声器 すでに記憶されている周波数を削除します。 中止 セルコール 操作を中止します。	スキャン受信 スキャン設定	基本操作 7 全波 常用波 スケルチ 3 スキャン 全波と常用波からスキャンしたい方を選びます。 ノイズが消える位置より少し右側で止めます。 スクラン中に再度押すとスクランが解除されます。 マイクのプレストークスイッチを押してもスクランが中止されます。	ストップスキャン・自動スタートスキャン間隔の設定 自動スタートスキャン：入感して一定時間停止したあと、次のチャンネルから再スキャンします。 3 スキャン 液晶画面の表示 5 0.3 “スキャン”を約3秒間押し続けます。 スキャン間隔 自動スタート/ストップ表示 スキャンの種類が選択できます。 5 ストップスキャン A 自動スタートスキャン	スキャン間隔の設定 → 引続き 3 スキャン キーを押す毎に「0.3秒」、「1.0秒」、「2.0秒」、「3.0秒」の切替 セルコール キーで設定完了します。(通常画面に戻ります)
-----	---	--------	--	------------------	---	--	---

株式会社光電製作所

上野原事業所	〒409-0112	山梨県上野原市上野原5278	Tel：0554-20-5860	Fax：0554-20-5875
営業3部／関東営業所	〒146-0095	東京都大田区多摩川2-13-24	Tel：03-3756-6508	Fax：03-3756-6831
北海道営業所	〒040-0063	北海道函館市新若松町22-15-202号	Tel：0138-23-6711	Fax：0138-23-6711
関西営業所	〒674-0083	兵庫県明石市魚住町住吉1-5-9	Tel：078-946-1466	Fax：078-946-1469
高知営業所	〒780-0812	高知県高知市若松町6-6	Tel：088-884-4277	Fax：088-884-4371
九州営業所	〒814-0174	福岡県福岡市早良区田隅2-5-18	Tel：092-865-4131	Fax：092-865-4131

一般データ通信	データ通信を行う場合、僚船の識別番号を設定する必要があります。 また、GPS(GPS-20A)が接続されなければなりません。(詳細については、弊社又は、販売代理店にお問合せください) 僚船の識別番号は、最大 10 隻メモリすることが可能です。 自船の識別番号の設定は、販売元までお問合せ願います。 僚船の識別番号の設定  +  →  →  → 「1」～「0」キー “呼出/拡声器”を押しながら電源を入れます。 僚船の識別番号の上 5 桁を表示します。 (登録されていない場合 “0” が表示されます) “感度”を押して、数字キーに切替「1」～「0」キーで 県別番号から登録番号、種別番号の順で 10 桁の番号を入力 します。10 桁目でピンポン音が出て確定し設定終了となり ます。 複数隻の登録を行う場合は、選局ツマミを廻し、チャンネルを 変更した後、“感度”を押して識別番号の設定を繰返します。  →  ↑ 上 5 桁の表示時  ↑ 下 5 桁の表示時 を押すことにより、 上 5 桁と下 5 桁の 表示を切替します。
	データ送信 工場出荷時は、一般データ通信 OFF 設定となっておりますので、下記の操作で確認及び、設定を行ってください。  を約 3 秒間押し続ける →  一般データ送信 OFF  プレストークスイッチを OFF した時、送信  プレストークスイッチを押した状態で “呼出/拡声器”を押した時、送信 右図の表示のあと、“CH/周波数”を 押すことに設定が切替ります。  を押して設定完了します。 以後、設定された条件でデータ送信を行います。 一隻送信と一括（識別番号をメモリした僚船一括）送信の選択  を約 3 秒間押し続ける →  → 引続き  を押すごとにドット表示が ON/OFF されます。 ドット表示有り：一括送信、無し：一隻送信  →  ↑ 一括送信 →  →  ↑ 一隻送信  を押して設定完了します。
	メモリ内の一隻送信を行う場合 上記の選択で一隻送信とし、送り先の識別番号を選局ツマミ廻して表示し、“セルコール”を押して設定完了することにより、選択した僚船のみへのデータ送信となります。(選局ツマミを廻した一瞬チャンネル表示を行い、識別番号を表示)
救急データ通信	救急データ受信時の表示 救急データを受信すると、LCD 画面が以下のような救急表示となり、アラームを鳴らします。  E1：発信器による通報 E2：スイッチによる通報 E3：テストによる通報 本装置により救急通報を行った場合は、受信側へは「E 2」が表示されます。 アラーム音と表示の解除は、スイッチ又はプレストークスイッチを押すことにより解除されます。 アラーム音の継続時間は、無制限（工場出荷時）に設定されております。ある一定時間で解除とする場合は、弊社又は、販売代理店にお問合せください。

救急データ通信	救急データの送信 ①チャンネル“524”で救急データ送信  →  を 5 秒以上押し続けます。 (左側の LCD 表示が「P」を表示した後、ウィンクするまで押し続けて下さい) 海岸局へ注意信号を 4 秒以上送信した後、救急データを 10 回送信します。 1 分間の休止の後、再度救急データを 10 回送信します。解除されるまで、繰返し送信されます。 ②チャンネル“524”以外での救急データ送信  を 5 秒以上押し続けます。 (左側の LCD 表示が「P」を表示した後、ウィンクするまで押し続けて下さい) 救急データを 10 回送信します。 1分間の休止の後、再度救急データを10回送信します。解除されるまで、繰返し送信されます。 救急データ送信中又は、休止中の LCD 表示は以下のようになり、送信解除されると元の表示に戻ります。  ↑ 救急データ送信中  ↑ 救急データ送信休止中 救急データ送信解除 救急データの送信解除は、スイッチ「1」～「0」又は、プレストークスイッチを押すことにより解除されます。
バックライト	LCD のバックライト ON/OFF  を押しながら、すばやく  を押します。 ※ “セルコール”を押し続けると、セルコール呼出番号設定モードに入ってしまうしますので、“全波/常用波”をすばやく押して下さい。
秘話通信	※秘話通信にはオプションの多コード秘話ユニットTV-H2が必要です。 秘話コードの設定 (例) 秘話コード “1 2 3 4” を登録する場合   →  →  →  →  →  →  設定完了 約 3 秒間押し続ける。 テンキー入力に切替える。 秘話コードは“0000”～“7999”の範囲で設定します。 秘話の開始と終了  →  →  →  秘話通信が許可されている周波数を選択します。 液晶画面が数秒間点滅します。液晶画面に“H”が表示されると秘話通信を開始します。 選局ツマミで周波数を変更するか、秘話”を押すと、秘話通信は終了します。
拡声器	拡声器機能が標準装備されていますので、甲板などへの連絡や、隣で操業中の船との連絡に使用できます。 拡声器機能を利用するためには、オプションの拡声器用トランペットスピーカをご用意ください。 (追加したスピーカからは、通信用のスピーカと同じ受信音が聞こえます。)  →  液晶画面の表示  →  電源を入れ ます。 拡声器機能に入ったことを表します。 マイクのプレストークスイッチを押しながら話し、音量ツマミで音の大きさを調節します。 プレストークスイッチを押さないときは、拡声器機能に入る前の周波数の受信音がスピーカから出ます。 通常状態に復帰します。
チャンネル524(27.524MHz)を選んだときは、常用波の記憶・スキャン受信・セルコール呼出・拡声器及び、秘話の機能は使用できません。 秘話通信の詳細は秘話ユニット “TV-H2” の説明書をご覧ください。 データ通信に対する詳細は、弊社又は、販売代理店にお問合せください。	